

来月の消費予報

3月に高まった季節消費への意欲は、 4月も継続する見通し。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

4月の消費意欲指数は45.8点。前年同月比・前月比ともに-1.1ポイントで、ほぼ横ばいとなりました。

4月の消費意欲指数



↓ 前月比 -1.1 ポイント

↓ 前年同月比 -1.1 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意欲



★ UP : 前年同月比で 20 人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で 20 人以上減少

「来月(4月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

4月のポイント

Point 1 : 消費意欲指数は横ばい。季節消費も例年並みとなる見込み

4月は新生活準備、春物への意欲が3月から継続する月です。消費意欲指数は3月からほぼ横ばいで、この3年間46点前後の水準が続いています(2015年4月45.9点、2016年4月46.8点、2017年4月45.8点)。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「新生活・新年度準備」や「春物衣料が欲しい」など、季節消費に関する声が増加(2016年4月155件→2017年4月187件)。特に買いたいもの・利用したいサービスについても、「ファッション」(前年同月比+11件)、「家電・AV」(前年同月比+17件)でまずまずの意向が示されており、4月も例年並みの季節消費が期待できそうです。

Point 2 : 点数が伸び悩む背景に、節約志向の高まりか?

4月の消費意欲指数の理由として、季節消費を挙げている件数を時系列で見ると、2014年の増税時に落ち込んだものの、その後回復を続け、年々増税前のレベルに近づいてきています(2013年4月197件→2014年4月46件→2015年4月133件→2016年4月155件→2017年4月187件)。

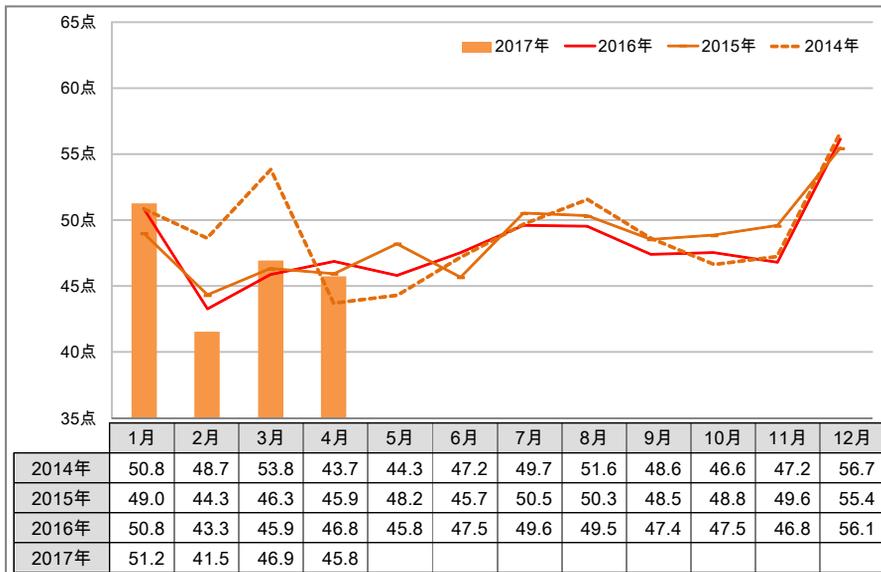
一方で、消費意欲の点数自体は伸びていません。消費意欲指数の理由をさらに見ていくと、「今月までに使った反動でセーブ」(2016年4月64件→2017年4月86件)や「節約したい」(2016年4月46件→2017年4月61件)、「貯金・投資したい」(2016年4月17件→2017年4月28件)などが前年よりもやや増えています。季節消費をしたい気持ちはあっても、それ以上に消費を抑制する気持ちが強く、なかなか点数が回復しないようです。

消費意欲指数

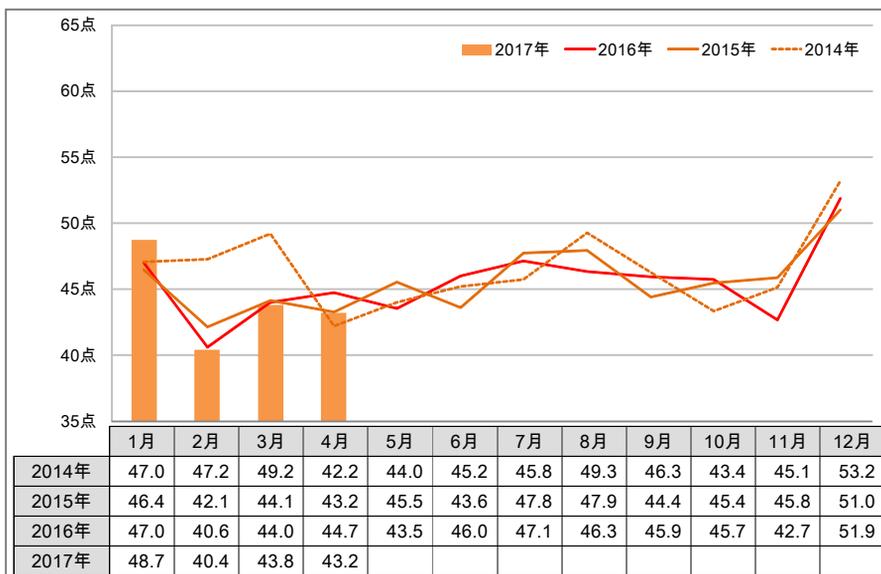
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

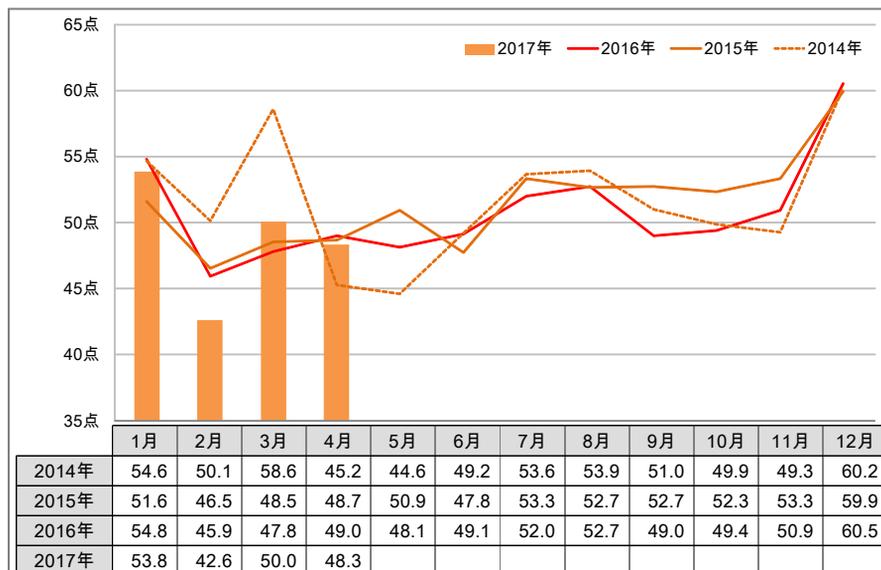
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【新生活準備・春物がほしい】

- ・春だから春服がほしい。新生活シーズンなので新しいものが欲しい(80点・女性24歳・大阪府)
- ・新年度が始まるので気持ちを新たに！という意味でも新しいものや新しいサービスなどを使って生活を楽してみたいため(80点・女性37歳・愛知県)
- ・何かと新生活気分に合わせてくれる季節なので、控えめにも思っている、つつい購入意欲がかきたられそうなので(80点・女性42歳・神奈川県)
- ・子供へのプレゼント等、新生活応援(65点・男性57歳・大阪府)
- ・新年度を迎え、スーツや靴を眺めたくと思う(80点・男性66歳・東京都)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【今月までに使った反動でセーブ】

- ・冬のセールでたくさん買い物をしたので、来月は消費欲を抑えるため(10点・女性29歳・東京都)
- ・今年に入ってから少し浪費している傾向があり、貯蓄や投資資金を考慮して消費を抑えたい(30点・男性39歳・大阪府)
- ・親戚の入学祝いや香典などで今月出費が多かったし、GWに旅行もするから節約したい(30点・女性44歳・大阪府)
- ・3月は送別会や帰省の予定があるが、4月は特にイベントの予定がなく、GW前の出費は押さえたいから(30点・男性58歳・東京都)
- ・2月に結構買い物をしてしまったのでしばらくは買い物を控えたい(30点・男性66歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年4月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	25.2	-2.6	+2.1
男性	22.6	-3.0	-0.8
女性	27.8	-2.3	+5.0

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(378人)

参考:男性(171人)

参考:女性(207人)

順位	カテゴリー	4月(人数)	前年同月比
1	ファッション	206	+11
2	旅行	141	-4
3	外食	135	-9
4	食品	125	+5
5	家電・AV	104	+17
6	レジャー	97	±0
7	書籍・エンタメ	95	-12
8	飲料	90	+6
9	理美容	85	+3
10	化粧品	80	-6
11	日用品	75	+9
12	インテリア用品	69	+9
13	装飾品	59	±0
14	パソコン・タブレット・周辺機器	54	-3
15	車・バイク	40	-4
16	スマートフォン・携帯電話	38	-3

順位	カテゴリー	4月(人数)	前年同月比
1	ファッション	75	+4
2	旅行	67	-10
3	家電・AV	65	+15
4	外食	59	-12
5	食品	54	-5
6	書籍・エンタメ	50	-7
7	レジャー	46	-5
8	飲料	45	+6
9	パソコン・タブレット・周辺機器	38	-2
10	車・バイク	34	+1
11	日用品	31	+12
12	装飾品	28	+1
13	スマートフォン・携帯電話	25	+1
13	インテリア用品	25	+5
15	理美容	18	-1
16	化粧品	10	-3

順位	カテゴリー	4月(人数)	前年同月比
1	ファッション	131	+7
2	外食	76	+3
3	旅行	74	+6
4	食品	71	+10
5	化粧品	70	-3
6	理美容	67	+4
7	レジャー	51	+5
8	飲料	45	±0
8	書籍・エンタメ	45	-5
10	インテリア用品	44	+4
10	日用品	44	-3
12	家電・AV	39	+2
13	装飾品	31	-1
14	パソコン・タブレット・周辺機器	16	-1
15	スマートフォン・携帯電話	13	-4
16	車・バイク	6	-5

<全体にのみ下記基準で色付け>

オレンジ:前年同月比で20人以上増加

青:前年同月比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年3月2日(木)～6日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-04/>)からダウンロードしていただけます